2026年11月17日

各　　位

会社名　　HSホールディングス株式会社
代表者　代表取締役社長　　松村　恭也
（コード8699　STANDARD）
問合せ先　　業務部　　川下　強
TEL　03-4560-0398（代表）

（開示事項の経過）当社持分法適用関連会社に対する金融制裁に関するお知らせ

当社の持分法適用関連会社であるJSC Solid Bank（本社：ロシア連邦ウラジオストク市、CEO：Vozisov Igor、以下「ソリッド銀行」又は「同行」という。）が、EUによる金融制裁の対象となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．概要

2025年10月16日付「当社持分法適用関連会社に対する金融制裁に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、当社の持分法適用関連会社であるソリッド銀行が、昨年、英国による金融制裁の対象に含まれることとなりました。

そして、2026年11月16日、EUは、ソリッド銀行がロシア極東地域における重要な商業銀行の１つであるとして、同行を追加制裁の対象に含めることを公表しました。

英国による制裁のみではソリッド銀行の業績に与える影響は限定的でしたが、EUの制裁対象に含まれたことによって、EU域内の金融機関との取引が制限され、国際送金や貿易決済業務に支障が生じる可能性があります。特に、同行の主要収益源の１つである外国貿易関連業務への影響が懸念され、同行の業績ひいては当社の連結業績に影響を与えると予想されます。

ご参考までに、当社の2026年3月期の連結損益計算書における持分法による投資利益（営業外収益）16,309百万円のうち、ソリッド銀行にかかる持分法投資利益が2,001百万円であり、また、2027年3月期第2四半期（中間期）においては、持分法による投資利益（営業外収益）8,689百万円のうち、ソリッド銀行にかかる持分法投資利益が738百万円となっております。

２．今後の見通し

本件による当社の連結業績に与える影響額は未定でありますが、今後、開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

また、当社グループは、主として、海外での金融業を営むグループ会社から構成されており、市場環境の変動や金利等の動向、海外の経済環境等からの影響を大きく受ける状況にあり、業績予想を合理的に行うことが困難であることから、開示は行っておりません。なお、四半期業績の迅速な開示を行ってまいります。

以　上